

文学資料コーナー 昨年の展示

2024.5.1 } 2024.7.7	移転開館 5 周年記念展示・大西民子生誕 100 周年記念展示 「ひやく・ひやく-埼玉県歌人会が選ぶ、大西民子百首選-」	自筆資料とともに、埼玉県歌人会所属の歌人たちが選んだ、大西民子の歌 100 首をパネルで展示
2024.7.10 } 2024.10.6	第 23 回企画展 「大宮民子と源氏物語 民子が愛した平安文学」	大西民子が源氏物語を題材にした短歌とともに、古典文学を紹介する展示
2024.10.10 } 2025.1.13	第 24 回企画展 「第 3 回 埼玉の歌人たち -短歌に込めた想い-」	長年埼玉で活動する七人の歌人たちによる、自筆資料等の展示や作品を紹介
2025.1.1 } 2025.1.31	新春特別展示 「宮澤章二の年賀状-巳-」	大宮ゆかりの詩人・宮澤章二の年賀状と干支「巳」の詩を展示
2025.2.2 } 2025.3.2	特別展示 「第 12 回さいたま子ども短歌賞 作品展示」	第 12 回さいたま子ども短歌賞の受賞作品をパネルで展示
2025.3.5 } 2025.4.30	第 25 回企画展 「永井陽子ふたたび-没後 25 年-」	歌人・永井陽子の自筆資料や所蔵品を展示

AI とばかり話す世界で、どこか息苦しさを感ずるのは、人は「正解」ばかりを追い求めているからかもしれません。
効率や論理だけではなく、人の心はもっと複雑で、もっと自由でいい。
詩は、心に寄り添い、言葉の奥にあるぬくもりや気配を残し、そしてエールを贈ってくれます。
読んでいるうちに、少し心が軽くなる。宮澤章二の詩には、あなたを励ますそんな言葉がきっとあります。

さいたま市立大宮図書館
館長 馬淵 忠秀

【参考文献】

『出発の季節 特装版(ほくしん詩集)』宮澤章二/著 北辰図書 1980 年)
『前進の季節 特装版(ほくしん詩集 2)』宮澤章二/著 北辰図書 1986 年)
『宮澤章二-風と光の詩人 企画展-』(さいたま文学館/編集 さいたま文学館 2015 年)
『行為の意味-青春前期の君たちへ贈る心の詩-新装版』(宮澤章二/著 ごま書房新社 2018 年)
「ふれあいタウン誌 おおみや」1 号(大宮名店会「おおみや」編集部/編集 1966 年)
「アコレおおみや」2010 年 9・10 月号、2019 年 4・5 月号(アコレおおみや編集部/編集)
「紀要」第 10 号(埼玉県立歴史と民俗の博物館/編集 埼玉県立歴史と民俗の博物館 2016 年)

2025 年 5 月 3 日
さいたま市立大宮図書館
さいたま市大宮区吉敷町 1-124-1
電話 048-643-3701 FAX 048-648-8460

宮澤章二没後二〇年・大宮図書館移転開館六周年記念展示
会期:2025 年 5 月 3 日(土)~6 月 30 日(月)

展示資料目録 No.32

詩人・宮澤章二からのエール

自分の一歩を

2011(平成 23)年の東日本大震災発生時、「見える気持ちに」というひとつの commercials が、多くの人々に感銘を与えました。この commercials は、大宮にかつて住んでいた詩人・宮澤章二が、中学生に向けて作った詩「行為の意味」がもとになっています。
今回、2025 年に宮澤章二没後 20 年をむかえるのにあたって、北辰図書の広報誌で宮澤が中学生にエールを込めて書いた詩のなかから、『行為の意味』(ごま書房新社/刊)掲載の 60 作品を、大宮図書館を舞台にしてパネルでご紹介します。
勉強や読書で過ごす大宮図書館のひとつ、宮澤のことばに触れていただき、みなさまのここを励ます力となれば幸いです。
最後になりましたが、本展開催にあたり、宮澤鏡一様、宮澤新樹様、ごま書房新社様、北辰図書株式会社様、公益社団法人 AC ジャパン様をはじめ、ご協力いただきました皆さまに、心より感謝申し上げます。

さいたま市立大宮図書館

大宮ゆかりの詩人・宮澤章二

宮澤章二は、1919(大正 8)年に埼玉県三田ヶ谷村(現・羽生市)に生まれました。

宮澤は、東京帝国大学(現・東京大学)在学中から詩を作るようになります。戦後の 1947(昭和 22)年には、現在の埼玉県立不動岡高等学校に教員として勤務し、国語を教えていました。教員をしながら、作詞の仕事に携わるようになった宮澤は、32 歳の時に作品づくりに専念することを決意し学校を退職、本格的に創作活動をはじめます。



写真「宮澤章二」
写真提供:宮澤新樹氏

1957(昭和 32)年、宮澤は家族とともに都内から旧大宮市に移り住み、以降 2005(平成 17)年に 85 歳で亡くなるまで大宮を拠点に活動していました。

宮澤は詩人として活躍しただけでなく、埼玉県内を中心に多くの学校の校歌も作詞しており、大宮図書館の近くでは、大宮南小学校などで宮澤の作った校歌が歌われています。そして、クリスマスソング「ジングルベル」の日本語訳も手がけており、1971(昭和 46)年以降の小学校の音楽教科書には、宮澤の訳した「ジングルベル」が掲載されています。

若者たちへ～宮澤章二からのエール～

1976(昭和51)年、宮澤は中学生にむけた詩の連載をはじめました。その最初の作品として、北辰図書の広報誌「ホームスタディほくしん」第1号に、宮澤の作った詩「母と子の季節」が掲載されます。以降、宮澤は約 30 年間にわたって学生たちの為の詩を作り続けました。

宮澤は、これらの作品について北辰図書から刊行された詩集のあとがきで

「季節ごとの色彩や親と子の気持ち、あるいは人間として生きる情熱や希望を盛り込んだ作品を、私はずっと書きつづけてきました」

「私の心の中のひそやかな声は、中学生諸君のひとりひとりにくがまれ…」と呼びかけていたようです」

と語っており、大きな情熱を持って打ち込んでいたことが伺えます。

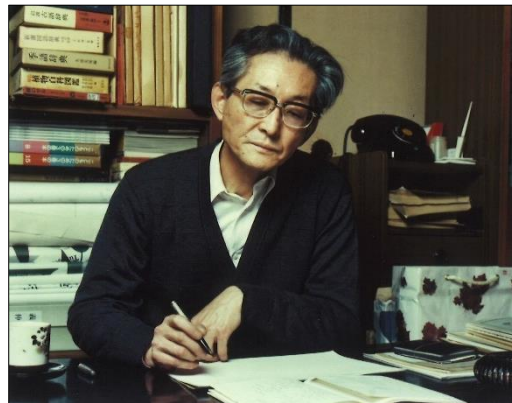
コマーシャル「見える気持ちに」で話題になった詩「行為の意味」も、もともと宮澤が中学生のために書いた作品のひとつでした。



「行為の意味―青春前期の君たちへ贈る心の詩」
(2018 年刊行 ごま書房新社)

画像提供:ごま書房新社

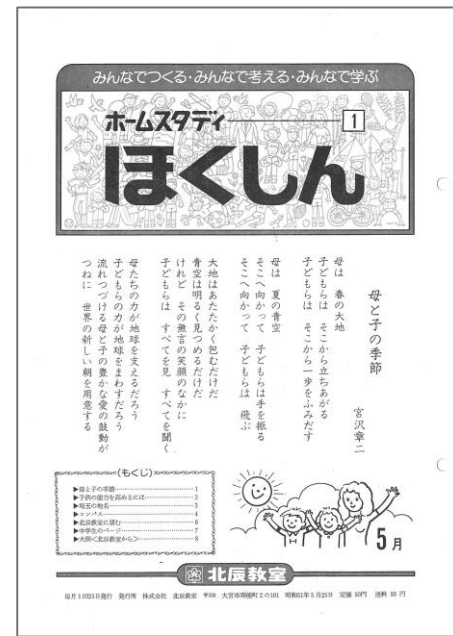
宮澤の没後に、「ホームスタディほくしん」等で発表された中学生向けの詩の中から、「自分の一歩」や「行為の意味」など 60 作品を掲載。



写真「執筆中の宮澤章二」 写真提供:宮澤新樹氏



写真「孫と写る晩年の宮澤章二」 写真提供:宮澤新樹氏



「ホームスタディほくしん」第一号
(1976 年 5 月 25 日発行)

画像提供:北辰図書株式会社

北辰図書の通信教育事業の会員ニュースとして、1976 年から刊行された。連載先は、のちに情報誌「前進」へと変わり、宮澤のライフワークのひとつとなった。

コマーシャル「見える気持ちに」

確かにへこころはだれにも見えない
けれどへこころづかいは見えるのだ
それは 人に対する積極的な行為だから
同じように胸の中のへ思いは見えない
けれどへ思いやりは見える
それも人に対する積極的な行為なのだから

【宮澤章二自筆原稿「行為の意味」より一部抜粋】

「こころ」も「思い」も見えない、けれどそれが「こころづかい」や「思いやり」になった時、誰かにも伝わるようになる。そんな想いを込めた宮澤の詩「行為の意味」が、AC ジャパンのコマーシャル「見える気持ちに」で使用されることになりました。

このコマーシャルは、2011(平成 23)年 3 月 11 日の東日本大震災発生後にテレビで頻繁に放送され、その言葉に感銘を受けボランティア活動を始め人が出るなど、大きな反響を呼びました。



協力:AC ジャパン

2025 年ビブリオバトル

2025 年 3 月に開催された「第8回全国中学ビブリオバトル決勝大会」にて、宮澤章二の詩集『行為の意味』(ごま書房新社、2018 年刊)が紹介されました。

ビブリオバトルは、参加者が「自分が面白い」と思った本を持ち寄り、決められた時間内で、その本のプレゼンテーションとディスカッションをするゲームです。最後に参加者全員による投票がおこなわれ、最多票を集めた本が優勝本となります。

この大会では、投票の結果『行為の意味』が優勝本に選ばれました。2025 年の今、宮澤の言葉に再び注目が集まっています。